

# 平和の集い

平成28年2月26日(金) 午後6時30分 應典院研修室

「平和」は、地球上のすべての人々がこころをひとつにして真剣に考え、身近なところから着実に取り組まなければ実現できない、人類共通の課題です。

今回の「平和の集い」では、アーニー・ガンダーセンさん、メアリー・オルソンさん、スティーブン・リーパーさんが、「核と人類」の問題を語ります。

## アーニー・ガンダーセンさん



アーニーさんは原子力発電の技術専門家として45年の経験を有し、米国の原子力企業：Nuclear Energy Service社の副社長として勤務していました。

その後、原発に関する専門家として、米国原子力規制委員会(NRC)や米連邦裁判所などで、原発の設計上の欠陥、安全性の欠点、および廃炉について多くの証言を行ってきました。

さらには、福島第一原発における3基ものメルトダウン、そして、今なお進行中の放射線問題を厳しく指摘しています。2012年に数回日本を訪れ、同年2月『福島第一原発 真相と展望』(集英社新書)を発刊。

## スティーブン・リーパーさん



2007年、米国人として初めて広島平和文化センター理事長に就任(～2013年)。全米における原爆展の開催や核兵器廃絶をめざす2020ビジョン・キャンペーンなど広島から世界に向けて核兵器廃絶を訴えてきました。

現在は「豊かさを問う交流の場」として、広島県郊外に「平和文化村」を開設。そこから、持続可能な生活を実践するモデルを、国際社会に示そうと活動中です。広島女学院大学、長崎大学、京都造形芸術大学の客員教授。

著書は『ヒロシマ発 恒久平和論 / Hiroshima Resolution』・『日本が世界を救う 一核をなくすベストシナリオ』

## メアリー・オルソンさん



米国の原子力情報サービス(NIRS)の生物学者。NIRSは、原子力発電による放射線被害を懸念する情報を市民に提供する組織です。メアリーさんは放射性廃棄物、放射線の問題を20年以上研究し、その問題の重大さを社会に訴えています。

近年では、2014年12月「核兵器の人道上的影響に関する第3回国際会議」(ウィーン)、2015年5月「核兵器不拡散条約の再検討会議(NPT)」(国連本部・ニューヨーク)などでスピーチを行なっています。とりわけ、「放射線の影響は、男性に比べ女性が高く受ける」という研究報告が注目されています。

どなたでも  
ご参加いただけます。  
参加費無料。

## ■問い合わせ・申込み

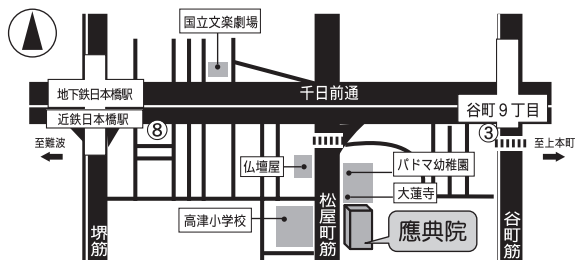
E-mail:syougyouji@tenor.ocn.ne.jp

HP:090-2286-2882 (浄土宗平和協会担当：池野)

## ■会場 應典院

〒543-0076 大阪市天王寺区下寺町 1-1-27

TEL:06-6771-7641 FAX:06-6770-3147



■地下鉄谷町線「谷町9丁目駅」③番出口より西へ8分

■地下鉄堺筋線・近鉄「日本橋駅」⑧番出口より東へ9分

平和 共生 みんなのために

## 浄土宗平和協会 Jodo Shu Peace Association (JPA)

浄土宗平和協会(JPA)は、『国際平和への貢献』という理念のもと、浄土宗唯一の平和団体として設立されました。平和を願う気持ちを託して、法然上人の教えのもとに4つの中心的活動—平和念仏募金、ブックギフト、浄土宗平和賞、スタディーツアー—を行っているほか、平和を祈念する法要、講演会、平和のための緊急声明、災害のための緊急募金なども実施しています。

### 【JPA4つの活動】

平和念仏募金運動・ブックギフト事業

浄土宗平和賞・スタディーツアー